

＝令和８年度 上越教育大学上廣道德教育アカデミー研修大会＝

日 時：令和８年９月１８日（金）

会 場：長岡市立上川西小学校（新潟県長岡市下柳２丁目８番４６号）

◇実施報告

令和８年９月１８日（金）に、「令和８年度 上越教育大学上廣道德教育アカデミー研修大会」を実施しました。

「特別の教科 道德」（以下「道德科」）がスタートしてから、小学校では９年目、中学校では８年目を迎えています。文部科学省が令和３年度に行った「道德教育実施状況調査」の報告書（２０２２）では、「道德教育の要としての道德科のさらなる授業改善、教師の指導力の維持・向上や、そのための研修機会等の充実が喫緊の課題である。」と指摘しています。

また、文部科学省の教育課程企画特別部会が昨年度公表した「論点整理」を受け、各種部会では、次期学習指導要領の改訂に向けて議論され、とりまとめ(案)も公表されています。道德教育においては、「考え、議論する道德の実装」というキーワードが掲げられ、一層の具体化を図ることが求められています。

これを受け、本アカデミーの今年度の研修大会では、小学校会場として、長岡市立上川西小学校をお借りし、全国の実践家による授業を参観していただき、その後の分科会では、公開された授業を基に、実践研究者も交えて授業改善や指導力の向上のあり方などの検証を行いながら、子ども達にとっての『魅力ある授業』はどのようなものなのか、参加者の皆さまと具体的に学び合う場としたいと考え実施しました。

会場では、県外より招聘した授業者２名による公開授業を実施しました。授業者の創意工夫あふれる授業が展開され、参加者の授業力向上のための示唆に富む内容でした。

【公開授業の様子】

午前 公開授業①：授業者 高橋 静 様（千葉県柏市教育委員会教職員課 課長補佐）



午後 公開授業②：授業者 久保田 高嶺 様（山口県岩国市立岩国小学校 教諭）



公開授業の後は、分科会を実施しました。授業に関して活発な協議が進められ、協議後は、県外より招聘した指導者2名による講演が行われました。参加者は、授業者に授業展開の意図や工夫を直接確かめることができ、さらに、指導者の話によって、その理解が意味づけられるとともに、道徳授業の充実に向けて求められている内容や方向が明確になりました。

【分科会の様子】

分科会①：授業者 高橋 静 様（公開授業①）

指導者 谷口 雄一 様（学校法人常翔学園 摂南大学 全学教育機構教職支援センター 准教授）

コーディネーター 早川 裕隆（上廣道徳教育アカデミー所長 上越教育大学名誉教授）



分科会②：授業者 久保田 高嶺 様（公開授業②）

指導者 門脇 大輔 様（日本体育大学児童スポーツ教育学部 准教授）

コーディネーター 林 康成 （上越教育大学 学長）



参加者は、終始真剣な姿勢で授業を参観されておられました。また、分科会では、参加者から多くの発言が出されるとともに、「魅力ある授業」づくりに関する理解が深まりました。

大会終了後のアンケートでは、参加者から、「県外の先生の授業スタイルがすごく新鮮で、多くの学びがありました。」「子供の心を揺さぶる素晴らしい実践を参観できたことと、それを裏付けるミニ講演を聞くことができて大変勉強になりました。」「低学年、高学年どちらの授業も拝見でき勉強になりました。」「来週からの道徳授業に生かしていきます。」「といった肯定的な意見が多く見られました。これらの意見から、本大会の企画が今後の道徳科授業の充実と発展に資するものであり、参加者にとって有意義な学びの機会となったことが伺えます。

当日は、県内の教育関係者を中心に、全国から計 83 名の方にご参加いただきました。